

## 床下に換気扇を設置してもらったが工事内容と効果に疑問がある

|      |  |
|------|--|
| 相談内容 | <p>数年前に両親が居住する住宅に県内の業者の訪問があり、床下の調査をしたうえで、湿気があるため薬剤散布と換気扇設置を勧められて、工事を実施してもらった。この時に両親から相談があればよく検討して工事を断ることもできたと思うが、既に設置した換気扇を撤去する必要性もないためそのままにしておいた。</p> <p>最近になって、換気扇を設置した業者が再度訪れて換気扇の取り換え工事を勧められて、両親もわからないまま取り換え工事は完了してしまった。</p> <p>換気扇の配線もいい加減で、しっかり固定していない状態で、そのことを見ても業者自体を信頼できない。</p> <p>そもそも、換気扇の必要性の説明が不十分であり、必要であっても台数の根拠も説明がない。改めて床下の状況を確認していただき、換気扇の必要性や有効性について説明いただける専門家を紹介していただけないか。</p>   |
| 回答内容 | <p>まず、床下を確認できるのであれば、現状がどのような状態なのかを確認する必要があります。建築された時期にもよりますが、一般的に日本の住宅は自然な空気の流れによって床下の換気を行う構造となっており、一定の間隔で、外部からの空気を取り入れて排出するための床下換気口が設置されています。最近の住宅では、床下をすべてコンクリートで覆う工法や、少なからず、床下の土の表面には樹脂製のシートを敷き詰めるなどの工法を行っています。それでもなおかつ床下の土が湿っている状態である場合は、その敷地の地下水が高い状態か、あるいは傾斜地で外部から雨水や地下水が浸入している状態が考えられます。そのような状態が確認できるのであれば、抜本的な改修を行うことをお勧めします。</p> <p>一方、換気扇の有効性については現地を確認してみなければわかりませんが、床下の構造から、外部の空気を取り入れ排出する経路が明確であり、その経路が長い場合は、途中にさらに換気扇を設けて空気の流れる道筋を作るといったことを考えなければならず、こうしたことから、最低でも2から3か所の換気扇が必要といえるでしょう。換気扇を床下いくつも設置してみても、内部で空気を拡散しているだけでは効果があません。新しい空気を取り入れて、床下内の湿気のある空気を外部に出す構造でなければ意味はないものといえます。台数だけ多く設置するケースもあり、その取り換えを数年に1度おこなうことで儲ける業者もいますので注意が必要です。</p> <p>いずれにしても、1回業者とは違った目で床下を点検してもらうために、別の業者又は建築士に調査を依頼することが得策です。前述しているとおり、換気扇設置ではなく、抜本的な改修提案が行われる可能性もあります。もし、必要性のない換気扇を設置しているのであれば、「詐欺」行為であることも考えられます。このことの対応については、刑事事件ということになりますので、具体的には警察又は弁護士に相談してください。</p> <p>なお、本会ではこうした調査のための業者あるいは建築士の紹介を行っておりません。他の建築関係団体では、会員名簿を公表している団体もありますので、確認してみてください。</p> |